

豊かにつながる教育の実現をめざして

令和6年7月1日付で教育長を拝命いたしました。鳴門の未来を担う子どもたちの健やかな成長、市民の皆様の生涯にわたる学びの充実に向けて、誠心誠意取り組んでまいります。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

さて、教育長就任に際して、自分がめざす教育のあり方について考えました。教育の目的は、教育基本法に謳われている「教育は、人格の完成を目指し平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期しておこなわれなければならない。」です。本市におきましても、それを受けて、教育は人づくり、人づくりはまちづくりの原点であるとの認識のもと、「ともに学び 育ちあう 共育のまち鳴門」を基本理念に定めた「鳴門市教育大綱」及び「第二期鳴門市教育振興計画」に基づき、豊かな人間性を備え、郷土を愛し、社会に貢献する人の育成をめざした教育を進めています。

私は、鳴門市で生まれ、60歳の現在に至るまでのほとんどの時間を、ふるさと鳴門市で過ごしてまいりました。私が感じる鳴門市の強みは、鳴門海峡の渦潮に代表される自然の豊かさであり、板東俘虜収容所・「第九」アジア初演の地に代表される人々の心の豊かさです。私は、そういったまちで、様々な出会いを通して、学び続けることができています。出会いは、人と人とのつながりを生み、人生を豊かなものにしてくれます。子どもたちにも、鳴門市で育つ中で、すばらしい出会いを通して、豊かにつながる経験を積み重ねてほしいと思います。

私が、38年間、小学校教員として勤務する中で念じていたことは、子どもたちに楽しく学校に来てほしいということです。では、学校に来る楽しさとは何でしょうか。私は、三つの側面から述べたいと思います。

一つ目は、「学ぶ楽しさ」です。ご承知の通り、学校教育の中では GIGA スクール構想による一人一台端末が整備され、それを活用する教育、それを活用できる子どもを育てる教育の研究が進められています。ICT の有効活用により、個別最適な学びの幅が広がり、ひいてはそれが、子どもたちの「学ぶ楽しさ、わかる楽しさ」を実現し、将来の自己実現へとつながっていきます。そして、ここに一つ、将来の自己実現につながる、豊かなつながりが登場します。

二つ目は、「人とかがわる楽しさ」です。学校に来れば、仲良しの友達がいる、大好きな先生がいる、そして地域の方からすばらしいことを教わる、そこから生じるのは、人とかがわる楽しさであり、豊かな人間関係です。それが、人生における一ページの場合もあれば、数ページにも及ぶアルバムになる場合もあるでしょう。ここにも、豊かなつながりが生じることとなります。

そして、三つ目が、人の役に立つ楽しさ、言葉を換えれば自己有用感といったものです。学校教育の中では、様々な役割を経験し、それをやり遂げる楽しさを味わいます。それが将来の働く意欲につながることは言うまでもありません。仕事をする意味は、人の役に立つことであり、それがやりがいということになります。人の役に立つことは、人に喜ばれ、感謝され、新たな仕事への意欲となります。そして、そこに生じるのが、人と人との豊かなつながりです。

私が考える「豊かにつながる教育」の内実について述べてまいりましたが、その教育を実現するにあたり、鳴門市がはぐくむ豊かな自然、豊かな人のつながりは、子どもたちの将来に向けた道しるべであり、生涯にわたる学びに通じるものと確信しています。

それらのことを踏まえて、「豊かな人間性を備え、郷土を愛し、社会に貢献する人」の育成をめざし、チーム鳴門市で取り組んでまいります。市民の皆様のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年7月

鳴門市教育委員会教育長 阿部孝弘